

## 令和6年度 山形県地域づくり実践交流集会 実施報告（HP版）

- ◆日時 : 12月8日(日) 13:30~16:00
- ◆会場 : 遊学館第1研修室
- ◆テーマ : 民俗芸能に学ぶ地域づくり～人のつながりのつくり方～
- ◆参加者 : 36名
- ◆内容 : 県内外で地域づくりや地域学を実践している団体や地域づくりに関心のある方が集まり、より一層充実した活動を展開するための契機となるよう、地域づくりや地域学について学ぶ機会とした。今年度は民俗芸能などの地域に伝わる民俗的な営みが世代を超えて人々のつながりや地域づくりにどのように関わっているのかを鮭川歌舞伎を事例に学んだ。

### 【プログラム】

13:30~ 開会・オリエンテーション

13:40~ 第一部【事例提供】「鮭川歌舞伎の継承と地域づくり」

高橋真一 氏(鮭川歌舞伎保存会 座長)

黒坂洋平 氏(鮭川歌舞伎保存会 座員・鮭川村教育委員会教育課生涯学習係長)

14:30~ 第二部【トークセッション】「民俗芸能による絆づくり・地域づくりとは?」

高橋真一 氏

黒坂洋平 氏

菊地和博 氏

廣瀬隆人 氏

コメンテーター: 菊地和博 氏(東北文教大学人間科学部人間関係学科特任教授)

コーディネーター: 一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事 廣瀬隆人氏

### ◆当日の様子

第1部事例発表では鮭川歌舞伎保存会の座長の高橋氏より、鮭川歌舞伎の成り立ちから戦後の衰退、そして復活への歴史、当時の若者にとっての歌舞伎の存在や思いをお話いただいた。その後、YouTube で鮭川歌舞伎の映像を見ながら、黒坂氏に現在の鮭川歌舞伎の取り組みについてお話いただいた。映像では練習の様子、そして2023年に鮭川歌舞伎伝承250周年記念として行われた50年ぶりの土舞台公演の様子を見る事ができた。(https://www.youtube.com/watch?v=JqqfnhRPiao)

第2部のトークセッションでは民俗芸能による地域の絆づくりや、地域づくりについて参加者の活発な意見も交えながらお話いただいた。鮭川村では小学校の授業で地元の4つの民俗芸能(羽沢節、段の下田植え踊り、鮭川歌舞伎、清流さげがわ太鼓)に取り組んでおり、そこでは各保存会が関わって指導している。そのため、自然に子どもたちが歌舞伎に関わる環境が醸成され、子ども歌舞伎や鮭川歌舞伎保存会へ入会する子どもたちもいる。鮭川村には高校がないため、中学卒業後は村外の高校、大学へと進む中で、卒業後に村に戻り歌舞伎を再び始める若者もあり、保存会の若手座員もそのような若者が多いとのことだった。また、6月の定期公演の1か月前から練習が始まるが、その期間は毎日練習後に皆でお酒を飲んで語らい長い時間を共に過ごす。また、黒坂氏は行政の立場として、土舞台復活に向けて動いた時に、地域の文化団体連合会や観光協会や地域の人々と自然と協働の仕組みができてきていることに気がついた。そして今年の豪雨災害時も、子



どもから大人まで、歌舞伎で繋がっている顔の見える関係だからこそ、自然とお互いが助け合っていたと語られた。

まとめてコメントーターの菊地氏は、コロナ禍もあり山形県の歌舞伎団体はこれまでのように活動が出来なくなっている団体も少なからずある。また地域によって条件は違うが歌舞伎に限らず小学校の統廃合で活動が停滞してしまった民俗団体もある。その中で、幼少期から民俗芸能に触れる機会があるかどうか、そして大人がどれだけ地域愛を持ち子どもに継承できるかが、地域づくりの鍵ではないかと語られた。コーディネーターの廣瀬氏は、民俗芸能は人のつながりを作る、文化の伝承を超えた地域づくりが行われていると語り、以下のようにまとめられた。



### 民俗芸能に学ぶ地域づくり～人のつながりのつくり方～

鮭川歌舞伎保存会 高橋真一座長 黒坂洋平氏の報告から

#### ◆この実践から学ぶこと◆

- 1 担い手育成の基本 小学校の総合的な学習の時間での民俗芸能学習  
系統的な学習の継続と子ども歌舞伎による担い手育成 段階的育成
- 2 歌舞伎を支える聴衆(オーディエンス)の育成
- 3 公演の前に行われる約1か月に及ぶ毎晩の練習と飲み会  
一緒にいる時間、共有する時間と場、語り合う仲間づくり  
他の地域づくりの活動で円滑な連携・協働を可能としている。
- 4 若手の担い手のつながる力の源泉 公私の混在、シームレスな関係
- 5 地域づくりで新しい制度や仕組みを作っても機能しない。地域の資源、民俗芸能、民俗行事、地域の儀礼、習慣に先祖が伝えた知恵が埋め込まれている。



### 参加者 Voice

- ・鮭川村全体での地域づくりに感銘を受けました。
- ・伝統芸能を通した循環型の人材育成について考えることができた。様々な立場の方からの具体的な話題が参考になりました。
- ・生の声が聞いて参考になりました。いいことも悪いことも双方聞けると自分の地域に持ち帰れるので嬉しいです。
- ・小学生から中高生そして大人になるまで途切れさせないで繋げていく事が大切な事。子どもには大人扱いをして特別なんだというように思わせる必要性を学びました。一緒にいる時間の量が重要。参考にします。
- ・文化財が地域づくりの核になっていることがよく分かった。
- ・貴重なお話をお聞きでき大変興味深かったです!実際に地域で活動されている様々な立場の方の質疑応答も参考になりました。
- ・今回のように様々な切り口から人づくり・地域づくりの取り組み事例を学び合うことを通して課題解決(今回はつながりづくりでしたね)につながるような会を希望します。
- ・音楽教育に携わっております。民俗芸能には音楽が欠かせないという思いで参加させていただきましたが、改めて「人と人をつなぐ」役目の大切さについて考える機会となりました。
- ・私は特に肩書のない一般人ですが、伝統芸能に興味があり、どのようにして関われるのか知りたくて参加しました。自分の地域には伝統芸能が少なく、いつもあこがれを持っています。オーディエンスでもいいのだと知り、今後色々な所に参加したいと思いました。